

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

さいのかがやき

彩の耀

第177号

平成28年7月25日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 市之瀬正靖)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

岡村氏に会長引継ぎ 平成28年度定時総会を開催



岡村新会長

平成28年度定時総会を5月30日にさいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で開催しました。任期満了に伴う役員改選の年にあたり、島村光正氏が相談役に退き、新会長に岡村一巳氏が就任いたしました。担い手確保・育成など抱えている課題の打開に向け、新役員が一丸となって取り組んでまいります。

バトンを引き継ぎ会長就任

のあいさつに立った岡村氏は「より魅力ある協会とするため会員拡大をお願いしたい。数は力です。石炭だってギュッと固まればダイヤになる。仲間をさらに増やして結束すれば七色に輝きます。当協会が発信するいろいろな情報の光は、受け手の会員によっては最も重要な価値を持つ場合があるからです。是非当協会を利用してください。そうなれば協会も磨かれます。これからも電設業界をリードするため、技術の研さんと安全について研修を重ね、収益事業の拡大を図っていききたい。さらに協会を発展させるには一人ひとりの力が必要。協力をお願いします」と協会運営の方針を示しました。

後進に道を譲り相談役に就任した島村氏は「我々を取り巻く環境は今後も大きく変化することが予想されますが、皆さまの要望を取り入れながら力強く歩みを進め、協会をより価値のある、より存在意義のある団体とするよう今後も活動していきたい。今後は相談役となりますが、私がいただいたご厚情に対し、恩返しをするつもりで協会のため、引き続き努力する所存であります」と、在任中のお礼を述べられました。

議事では会務報告、収入・支出決算、定款および規程の一部改定などについて審議、全議案が承認されたほか、事業計画および収支予算について報告がありました。

一般社団法人として12年度から始めた共同購買事業においては、多大な実績を上げた西部支部をたたえ、報奨金が贈られました。



総会後の懇親会で新体制での門出に祝杯

総会終了後は懇親会を開き、多くの来賓を招き、新体制での門出を祝い親睦を深め合ったほか、恒例の優良従業員表彰も行われました。栄えある受賞者は次のとおりです。(敬称略)

平成28年度優良従業員表彰受賞者名簿

(永年勤続者部門勤続20年以上) 12名

会 員 名	被 表 彰 者 名
内 山 電 設 (株)	飯 田 雄 大
(株) お ぎ で ん	渡 邊 豊
佐 野 電 機 (株)	瀧 川 弘 一
(株) 関 根 電 気 商 会	金 谷 多 文
(株) 積 田 電 業 社	坂 巻 尚 史
(株) 電 成 社	吉 原 勇 二
(株) 東 電 工 業 社	堀 江 貴 久
那 須 電 機 工 業 (株)	新 井 秀 樹
(株) 万 代 電 気 工 業	奈 良 和 男
瑞 穂 電 設 (株)	三 品 貴 弘
(株) 八 洲 電 業 社	欠 端 一 雄
(株) ヤマト・イズミテクノス	飯 塚 延 康

(永年勤続者部門勤続10年以上) 18名

会 員 名	被 表 彰 者 名
(株) イートラスト埼玉	折 戸 敏 幸
浦和電気工事(株)	松 村 文 明
(株) 大 久 保 電 気	齋 川 誠
(株) 岡 村 電 機	新 井 久 麗 子
(株) お ぎ で ん	藤 井 秀 典
佐 野 電 機 (株)	飯 塚 和 彦
(株) 関 根 電 気 商 会	甲 斐 直 大
相 馬 電 業 (株)	宗 形 義 典
(株) 大 広 電 気	新 堀 祐 一
高山電設工業(株)	鴨 田 裕 行
(株) 積 田 電 業 社	山 崎 利 一
(株) 電 成 社	奥 田 辰 典
(株) 東 電 工 業 社	向 井 茂 樹
(株) 万 代 電 気 工 業	新 井 達
(株) まつもと電機	酒 井 智 央
(株) 明 電 社	見 内 征 治
(株) 八 洲 電 業 社	奥 澤 宣 則
(株) ヤマト・イズミテクノス	川 面 豊

(優秀技術者部門) 4名

会 員 名	被 表 彰 者 名	対 象 工 事 名
(株) 岡 村 電 機	杉 本 康 二	22県住大宮東宮下団地第1工区電気設備工事
島 村 電 業 (株)	中 田 真 一	13農業大学校移転整備露地野菜実習棟ほか電気設備工事
(株) 積 田 電 業 社	伊 藤 邦 雄	14彩の国さいたま芸術劇場電気設備改修工事
(株) 躍 進 電 気	矢 嶋 美 智 雄	25吉改第404号太陽光発電設備設置その2工事



受賞した優良従業員の皆さん



「彩の耀」に寄せて



坂戸市長

石川 清

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご尽力賜り、社会生活の安定と社会福祉の向上にご貢献をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

坂戸市は、関東有数の清流、高麗川をはじめとする豊かな自然の中にあって、東京都心から45km圏という高い利便性を生かし、首都近郊都市として発展してまいりました。また、平成20年3月に圏央道坂戸インターチェンジ、平成25年8月には関越道坂戸西スマートインターチェンジが開通したことにより、更なる交通の利便性が高まり、現在では、その利便性を活かした周辺開発が本格化しております。

そのような中、本市は昭和51年9月1日に全国で664番目、埼玉県で39番目の市制を施行し、今年で40周年を迎えます。この記念すべき年を市民の皆様とお祝いするため、「NHKのど自慢」の開催や市内の祭りを一堂に会した「坂戸のまつり」の開催、誰からも愛され親しまれる新たな「イメージキャラクター」の作製、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんによる「ランニングクリニック」など、多数の記念事業を予定しています。また、今年で第16回となる「坂戸よさこい」は、毎年、大勢の観客で賑わいを見せる全国有数のよさこいに成長しており、個性豊かな衣装を身にまとった踊り子達の流し踊りは圧巻ですので、皆様も、ぜひお越しいただければと思います。

さて、私は先の選挙におきまして、市民皆様と各方面からのご支援をいただき、引き続き市政の運営という重責を担わせていただくこととなりました。これまでの4年間を振り返りますと、常に市民目線に立った市民本位のサービスの提供、市民満足度の向上を目指し、市民の皆さんが、坂戸に住んでよかったと実感できるよう、市政運営に全力で取り組んでまいりました。

2期目がスタートした今、我が国は、世界に類を見ない速さで少子高齢化が進行し、人口の減少と相まって、社会情勢は厳しい状況であり、地方行政を取り巻く環境は、複雑化しております。これからは、時代の流れや多様な行政ニーズを的確に捉え、市政に反映していくことが重要であると強く認識しております。

こうした状況の中、第6次坂戸市総合振興計画における将来都市像「笑顔でつなぐ躍動のまち、さかど」の実現に向け、「安心して暮らせる、高齢者や社会的弱者にもやさしいまちづくり」、「将来を担う子供たちを応援するまちづくり」、「地域の活力を高め、快適な環境を創造するまちづくり」の3本の柱を重点施策に捉え、私が理想とする、市民の皆さんが安心して暮らせ、思いやりのある、市民にやさしいまちづくりを積極的に推進してまいりたいと考えております。特に、市の宝であります子どもたちへの支援は、本市が更なる発展を続けていくためには欠かせない重要な要素であると考えており、子育て環境の整備、充実はもとより、子育て世代が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

私は、市長とは「坂戸市と市民のために働くサービス業」であると思っております。そして、市民にとって住みやすいまちにすること、市民を幸せにすること、市民を裕福にすることが市長の仕事であると考えております。40周年を迎える節目の年を契機に、新たな気持ちで10万市民の舵取り役として、将来に渡って人や産業に選ばれ続ける、活力と魅力ある坂戸の創出を目指し、今後も全身全霊を傾注してまいりる覚悟ですので、引き続き皆様のお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

1級受験 準備講習

6日コースで徹底的に集中指導



4月13日から6日間、建産連研修センターで1級電気工事施工管理技士学科試験受験準備講習を開催しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。参加者は試験突破を目指し、カリキュラムに沿った講義や模擬試験に臨み、勉強するポイントについて指導を受けました。

講師を務めた小泉氏は「皆さんは仕事をやりながらの受講となりますから大変さも分かります。私はお手伝いしかできませんが、持っている知識をお伝えして、是非とも合格できるよう指導していきたいと思っています」と思いを伝え、講義を進めました。

初日はまず、資格・検定試験の内容、効果的な学習方法などについて説明を受けました。個別指導に活用するため前段で模擬試験を行い実力を把

握。その上でそれぞれが学習方法を学び、施工計画などについても講義を受けました。

2日目以降も模擬試験後、採点・評価・解説の順に指導を受け、個別学習指導、質疑応答などを実施。また工程管理の講義や、建設業法・電気事業法・労働安全衛生法などの各種法令の出題範囲なども確認。試験にあたっての諸注意事項や心構えなどについても指導を受けました。

協会では講座を毎年開いており、ここ数年、受講者の合格率は学科、実地ともに平均を上回っています。



試験突破へ6日間コースに臨んだ

第二種受験 準備講習

効率良くポイントを学ぶ



4月28日を初日に4日間コースで、本試験に向けた第二種電気工事士試験受験準備講習会（上期筆記コース）を開催しました。講師はSEEDO代表の関根康明氏。参加者は皆合格を確実なものとするため、真剣な面持ちで受講していました。

講習会では初めて電気を学ぶ人にもわかりやすく、出題頻度の高い問題を中心に、効率良く暗記できるポイントが解説されました。

1日目は一般用電気工作物の保安・法令、配線の種類と工事方法などについて学習しました。2日目は配線図から学ぶ測定器・電気の通り道な

ど、3日目はしゅん工検査と指示電気計器、配電理論などについて学びました。最終4日目は電気の基本理論について説明を受け、過去の筆記試験問題を解き、傾向を探りました。

試験を前に、基礎的な知識を身に着ける貴重な機会として、受講者も自覚を持って臨んでいたようです。



準備講習で過去の傾向探る

フォローアップ 研修

社員の定着率向上へ

中堅技術者フォローアップ研修



6月28日、29日の2日間、中堅技術者フォローアップ研修をさいたま市南区の別所沼会館で開催しました。講師はM&MC合同会社代表の國實誠氏と、SEEDO代表の関根康明氏。担い手確保の観点から、会員企業の離職率を減らすためにも貴重な場となっています。

初日はモチベーションアップ、部下育成の重要性、コミュニケーション能力の向上、安心して仕事ができる会社づくり、組織力強化と社員の定着率の向上などについて職場や現場での対応策を学びました。また2日目は安全および電気管理技

術について講習を受けました。

研修修了式に岡村会長より「協会、先生方、皆さんの3者が一体となって素晴らしい研修となりました。今回の経験を各会社持ち帰っていただいて、実務に役立てていただきたい。またそうすることが研修会の意義だと思います」との閉会の辞とともに、各自に修了証が手渡されました。



岡村会長が駆け付けあいさつ

協会運営が新体制になりました

総会終了後の理事会互選により、以下のとおりに役職が決まりました（敬称略）。

役 職 名	会 員 名	代 表 者
会 長	(株)岡村電機	岡村 一 巳
副 会 長	(株)電成社	山 口 裕
副 会 長	(株)大広電気	熊 田 弘 信
常 任 理 事	(株)東電工業社	小 椋 安 夫
相 談 役	佐野電機(株)	佐 野 良 雄
相 談 役	(株)おぎでん	荻 野 勝 治
相 談 役	島村電業(株)	島 村 光 正
理事・総務委員長	相馬電業(株)	古小高 収
理事・企業対策委員長 さいたま支部長	埼玉電設(株)	川 合 昭
理事・技術研究委員長 北部支部長	熊谷電機(株)	小林弥寿弘
理事・事故防止対策委員長	国益電設工事(株)	町 田 浩 征
理事・広報委員長 西部支部長	(株)市之瀬電設	市之瀬正靖
理事・人材育成委員長 南部支部長	内山電設(株)	内 山 祥 章



新旧役員で記念撮影

理事・総務副委員長	那須電機工業(株)	相 馬 宏 彦
理事	(株)躍進電気	矢 嶋 博 和
事故防止対策副委員長		
専 務 理 事	一般社団法人 埼玉県電業協会	荒 川 清 江
監 事	(株)橋本電工	橋 本 幹 男
監 事	(株)積田電業社	積 田 優

全体会議を開催 委員会事業など決定



岡村会長

6月14日に建産連研修センターで総会後初の全体会議を開催し、今年度の各委員会活動について検討・確認しました。

岡村会長は会議の冒頭「新三役らと専務で3日県庁を訪れ、上田知事、岩崎副知事らに、新体制で協会運営をスタートしたことを報告した」と述べました。

当日は各支部会議を開いた後、会員の所属委員会を決めた上で各委員会を開催。今年度の活動方針・計画などを話し合い、順番に委員長から年間

事業について発表を行いました。

総務委員会（古小高委員長）は総会・懇親会開催などで気付いたことなどについて意見を交換。企業対策委員会（川合委員長）は企業対策・経営者セミナーや中堅技術者を対象としたフォローアップ研修などについて。技術研究委員会（小林委員長）は認定講習や受験準備講習などについて。事故防止対策委員会（町田委員長）は安全大会と災害実働マニュアル作成などについて。広報委員会（市之瀬委員長）は広報誌発行、会員名簿作成、座談会開催などについて。人材育成委員会（内山委員長）は現場研修会などについて、それぞれ話し合いました。

支 部 紹 介



さいたま支部



東部支部



西部支部



南部支部



北部支部

新委員会構成は以下のとおりになります。

[総務委員会]

委員長	相馬電業(株)	古小高 収	
副委員長	那須電機工業(株)	相馬 宏彦	
委員	浦和電気工事(株)	磯部 寛二	佐野電機(株) 佐野 良雄
	(株)八洲電業社	吉村 克昌	イーテクノス(株) 生貝 博
	(株)大久保電気	大久保修蔵	(株)栗原電機 栗原二三子
	太洋電設工業(株)	浅子さゆ美	(株)東電工業社 小椋 安夫
	(株)中村電気	中村 正	
	(株)ヤマト・イズミテクノス	岡部 幸夫	

[技術研究委員会]

委員長	熊谷電機(株)	小林弥寿弘	
副委員長	(株)万代電気工業	三角喜久治	
委員	大塚電設(株)	大塚 薫	フジヤ電気工事(株) 柴崎 洋二
	島村電業(株)	島村 光正	内山電設(株) 内山 祥章
	(株)新電気	西藤 新	(株)佐久間電設 佐久間正好
	(株)高岡電気工業	高岡 武	(株)イートラスト埼玉 山本 和利
	(株)新井電機	新井 慎一	(株)早川電工 早川 隆治
	飯島電器工事(株)	飯島 敦子	

[広報委員会]

委員長	(株)市之瀬電設	市之瀬正靖	
副委員長	松山電設(株)	新井 雅志	
委員	新生電気工事(株)	竹島 重雄	(株)まつもと電機 石田 太平
	瑞穂電設(株)	郡司 欣則	釣谷電機(株) 釣谷 友久
	野口電気工事(株)	野口 忠男	(株)エコー 逸見 興世
	深井電気(株)	深井 正美	中外電気工業(株) 横山 利和
	(株)大庭電気商会	大庭 正巳	(株)沼尻電気工事 沼尻 裕之
	(株)三共電気商会	井上 則文	

[企業対策委員会]

委員長	埼玉電設(株)	川合 昭	
副委員長	旭電気工業(株)	北見 史生	
委員	中村電設工業(株)	中村 康宏	(株)北産電設 金子 圭
	(株)内田電気商会	田村 盛良	(株)奥富電気工事 稲川 晴行
	ニチデン技術サービス(株)	箕輪 栄治	高山電設工業(株) 阿部 憲夫
	(株)岡島電気商会	岡島 光孝	霜田電気(株) 霜田 五郎
	(株)おぎでん	荻野 勝治	(株)長井電機 長井 真理
	熊田電気工事(株)	熊田 武民	

[事故防止対策委員会]

委員長	国益電設工事(株)	町田 浩征	
副委員長	(株)躍進電気	矢嶋 博和	
委員	竹内電気(株)	竹内 光男	三位電気(株) 佐藤 仁
	(株)三進電気工事	矢部二治男	(株)田部井電気 田部井惣次
	(株)弓木電設社	弓木 裕一	岡根電気工事(株) 岡根美津枝
	(株)関根電気商会	関根 敏郎	共和電機(株) 山根 義法
	橋電(株)	橋本 昭	ムサン電機工業(株) 吉田 秀幸
	(株)明電社	吉野川裕之	

[人材育成委員会]

委員長	内山電設(株)	内山 祥章	
副委員長	旭電気工業(株)	北見 史生	
委員	大塚電設(株)	大塚 嵩之	(株)市之瀬電設 市之瀬正靖
	国益電設工事(株)	町田 浩征	橋電(株) 橋本 勉
	埼玉電設(株)	川合 昭	佐野電機(株) 佐野雄一郎
	新生電気工事(株)	竹島 重雄	熊谷電機(株) 小林 慶弘
	中村電設工業(株)	中村 康宏	(株)躍進電気 矢嶋 博和
	島村電業(株)	島村 典泰	

総務委員会



企業対策委員会



技術研究委員会



事故防止委員会



広報委員会



人材育成委員会



協会だより
西部支部「いい仲間と切磋琢磨、
次世代にもつなげたい」

(株)まつもと電機 取締役 蛭名幸司

平成28年5月30日、埼玉県電業協会の定時総会が開催され、その中で優良従業員表彰状授与が行われた。西部支部からは、永年勤続者部門勤続20年以上で4社、勤続10年以上で6社の従業員が受賞することができた。一つのことを長く続けることは簡単なようでなかなか出来ることではない。受賞者のみなさんには最大の賛辞と感謝の意を表すとともに、受賞者の名に恥じないよう、若年者の手本となっていたいただきたい。

厚生労働省の調べによると、若年層の失業率は全年齢3.6%と比べ高いものの着実に低下してきている。また、新規学卒者の就職率も改善が進んでいる。一方で、就職を希望しながらも未就職のまま卒業する者もいて、大卒者の3割、高卒者の4割が、卒業後3年以内で離職している状況もある。また、フリーター数は180万人前後で推移していると同時に、非正規雇用に就いた理由として「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答している不本意非正規の割合も、他の年齢に比べて若年層では高くなっている。

我が国の将来を担う若者が安心・納得して働き、その意欲や能力を十分に発揮できる労働環境を企業側が整えていく必要性も感じる。

東京オリンピックに向けて建設業は人手不足が見込まれる。企業はさまざまな工夫をして若年層に就職・定着してもらわなければならない。しかし、人を雇うにはお金がかかる。国からはトライアル雇用奨励金、三年以内既卒者等採用定着奨励金などの奨励金、雇用関係助成金、キャリアアップ助成金、認定訓練助成金などの助成金が準備されている。これらを上手に利用して人手不足の解消の一助にするのもいいだろう。

西部支部はみなとても仲がよい。ロードサポート活動後には参加者全員でカレー屋で昼食をとったり、入礼会場で顔を合わせれば和気あいあいと話ができる。いい仲間と切磋琢磨できることが電設業界の質の向上にもつながる。今のいい関係性を次世代にもつなげたい。



新三役が県関係部署へあいさつ

平成28年熊本地震 埼玉県義援金に協力

6月3日に当協会の新3役である岡村一巳会長、山口裕副会長、熊田弘信副会長と、古小高収理事・総務委員長、荒川清江専務理事が県庁に上田清司知事を始め関係部署へ訪ね、役員改選の報告として、幹部であいさつを行いました。

一行はまず、新体制で今年度事業をスタートしたことを報告した上で、協会運営に対する協力を要請しました。

その上で、熊本地震の発生で、甚大な被害を受けた被災地への義援金（100万円）として、県が対応している埼玉県義援金に岡村会長が目録を上田知事に手渡しました。

今回の義援金は正会員63社、賛助会員5社か

らの協力を得て実現したものです。



上田知事(右)に目録を手渡す岡村会長

“想い”と“結果”

(株)積田電業社 杉崎 和久



私事、これと言って特別なスポーツや体を動かすことも無く、日々（ある程度欲望にまかせて）飲食を続けていましたら、おなか周りが大きくなり、関節が硬くなり、持久力が落ちてきました。（年齢がいわゆる“中年”なのでなおさらです）かろうじて現在でも継続しておこなっているスポーツはゴルフだけです。ゴルフにはスポーツとしての部分以外に楽しめる要素が多いと感じています。具体的には、日常生活空間と離れた、ある程度の自然に囲まれた空間に身を置くこと。（山と緑ときれいな空気に囲まれた場所にお住まいの方は除きますが）又、同伴プレーヤーとゴルフ以外の会話もしながらおおよそ一日近く楽しめること。（苦手なお客様との接待ゴルフの場合は除きます）

さてそんなことで、少しゴルフの例をあげながら、“想い”と“結果”に関して、とりとめのめい話を記したいと思います。

ティーショットを打つ前に大概素振りをしますが、素振りの時は殆どの人が良いスイングです。この後いざボールを見つめて構えると、「良いショットをしてフェアウェイに、少しでも遠くへ飛ばしたい」、「左右に曲げたらOBだからまっすぐ飛んでくれ」といった“想い”が頭に充満します。“結果”はボールの頭を叩いてチーピンショットです。

ゴルフは250ヤードを飛ばすティーショットもワング

リップのパットも同じ1打です。長い距離を残したパットは意外に入ることが有り、入れ頃の距離は結構入らないことはゴルフをやる方の多くが経験されているでしょう。（上述はほぼ自分の経験です）素振りをしていざボールを見つめて構えると、前者の場合の“想い”は「距離があるからOKに付けば（入らなくてもカップの近くにつければ）御の字だ」、後者の場合の“想い”は「この距離ならワンパットで入れなきゃマズイ」「引っかけないでまっすぐ転がさない」と

以上の例は、緊張しすぎて力が入りすぎると、結果がうまくいかないと云った、少しネガティブな話しになってしまいましたが、現実には良くある事だと思います。

しかし、一方で、「想いは叶う」という言葉を実体験として感じることもありますし、またそう信じたいと思います。漢字の“叶う”とは、“口に出して十回言う”との意だそうです。

つまり「強くそうありたいと思うことにより、思ったような結果に近づく」のだと思います。

ゴルフがうまくなりたいと思うなら練習をする、練習をするとスコアが良くなる、そうするともっと練習したくなると云ったポジティブなスパイラルに入れば、想いは叶うに近づくでしょう。

さてこの辺でペンを置き、何年も行っていないゴルフ練習場に行ってきます。 以上

安全衛生教育

職長らに安全教育指導 労働災害防ぎ重要性学ぶ

5月19日と20日の2日間、職長・安全衛生責任者教育を実施しました。参加者は25人。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏と、特定社会保険労務士の浜浩子氏。受講者は労働災害防止への関心の保持の重要性などを徹底的に確認し合い、受講を修了しました。

今回の対象者は、職長など部下を使って仕事をまとめる立場の者や安全衛生責任者。また、以前に受講しているがリスクアセスメント教育を受講修了していない人たちです。

初日は職長・安全衛生責任者の役割から学びはじ

め、場面によってはグループに分かれて活発な討議が行われました。2日目は作業員に対する指導と教育方法、ミーティングや現場巡視など責任者が行う安全施工サイクルなどについて指導を受けました。

何より優先されるべきは安全の確保、人命に係わる危険の回避です。現場を守る立場にある受講者は皆、重いテーマを前に熱心に受講していました。



危険を回避する作業手順確認 高圧・特別高圧電気取扱者特別教育

6月23日、24日の2日間、高圧・特別高圧電気取扱者特別教育が行われました。参加者は24人。安全な作業環境を守る手段や、危険を回避する作業手順、さらには保護具・防具の扱い方など多方面にわたり、集中して講義を受け、労働安全衛生法に基づく法定教育を終えました。

講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。初日は電気・設備に関する基礎知識をまず徹底して学習しました。

2日目は安全な距離の確保、停電回路に対する措置、開閉装置の操作などについて確認。救急時の措置として対応の仕方について説明を受け、災害防止のために事故発生事例を参考にしました。理解度を確認するためのテストを実施。全工程を終え、修了証が授与されました。



安全の徹底へ基礎知識学ぶ 低圧電気取扱者特別教育

6月9日、10日の2日間、低圧電気取扱者特別教育が行われました。労働安全衛生法に基づくカリキュラムに沿った関係法令や基礎知識、絶縁保護方法、休電計画書作成などの指導を受けました。

感電災害による死亡者数は、一般作業員にとって高

圧電気よりも取り扱う機会が多いことなどから、低圧電気による事故の方が多い傾向があります。安全の確保、事故防止には絶縁用保護具の着用、停電作業の徹底など基礎的な知識の積み重ねと確実な実行で防げるものが多くあります。

協会のうごき

4月

7日 第1回企業対策委員会
8日 官公庁への新年度挨拶回り
19日 第1回協会理事会
22日 第1回広報委員会・人材育成委員会
合同委員会
26日 決算監査

5月

6日 第2回協会理事会
12日 第1回事故防止対策委員会
17日 第2回人材育成委員会
24日 第1回協会常任理事会・第1回総務委員会
30日 第3回協会理事会
平成28年度定時総会・総会懇親会

6月

3日 新役員挨拶回り
14日 第3回人材育成委員会・全体会議

7月

5日 あと施工アンカー講習会

第4回人材育成委員会
7日 第2回事故防止対策委員会
平成28年度安全大会
13日 県住消防点検説明会

第1回技術講習会
19日 第5回協会理事会
第1回収益事業役員検討会議

建設業担い手育成事業(県委託事業)

1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース・熊谷×6回)	4月2・9・16・23日、5月7・28日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース・さいたま×6回)	4月13・20・27日、5月11・18・25日
第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記コース×4回)	4月28日、5月6・13日、6月3日
第二種電気工事士試験受験準備講習会(技能コース×2回)	7月14・15日
職長・安全衛生責任者教育	5月19・20日
平成28年度新入社員研修[ビジネスマナー・雇入れ時安全衛生教育×2]	4月4・5・6日
フォローアップ研修会	6月28・29日

埼玉県認定職業訓練

低圧電気取扱者特別教育	6月9・10日
高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	6月23・24日
消防設備士甲種4類受験準備講習会(全3回)	6月13・20・27日

(一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (13社)

○旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
○国益電設工事(株)(南区)
○埼玉電設(株)(中央区)

[さいたま市]

新生電気工事(株)(見沼区)
竹内電気(株)(岩槻区)
(株)積田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(見沼区)
(株)万代電気工業(桜区)
瑞穂電設(株)(北区)
(株)八洲電業社(北区)

東部支部 (12社)

(株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
太洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
○ニチデン技術サービス(株)(北本市)
野口電気工事(株)(越谷市)
深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部 (19社)

(株)新井電機(飯能市)
○飯島電器工事(株)(川越市)
◎(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
○橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (9社)

◎内山電設(株)(川口市)
(株)奥富電気工事(川口市)

(株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
(株)田部井電気(川口市)
釣谷電機(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (16社)

イーテクノス(株)(熊谷市)
(株)イトラスト埼玉(行田市)
(株)エコー(深谷市)
岡根電気工事(株)(本庄市)
共和電機(株)(秩父市)
◎熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野町)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(鴻巣市)
松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
○(株)躍進電気(深谷市)

新入社員研修会を実施

早期戦力化へ基礎学ぶ

一企業では難しい初期重点教育をバックアップすることで、社会人として第一歩を踏み出す新人をサポートしています。今年は県の県土づくりの担い手確保・育成事業の補助を受け、23人が参加。4月4日から3日間にわたり、新入社員研修会を建産連研修センターで開催しました。

初日は例年講師を務めていただいている井島鈴子氏が「早期戦力化のためのビジネスベーシック」について説明。また残る2日間はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏を講師に迎え、「雇入れ時の安全衛生教育」をテーマに危険回避の基礎を学びました。

内山祥章人材育成委員長は会場で「何よりもお客様の信頼を得ることが大切です。人間その人自らが醸し出す魅力を磨

いていただきたい。技術力と人間力を合わせ持った立派な社会人として研さんを」とエールを送りました。

自分と他人の安全を守る手段・方法を多方面から確認。研修終了後は、閉会式で受講修了者に「安全衛生教育手帳」が発行されました。

